東京医科大学病院 総合相談・支援センターだより

平成 27 年 1 月

かしわぎ

vol. 46

CONTENTS

新年挨拶 …… 2
口唇口蓋裂センターの設立について …… 3
小児頭痛外来の開設について …… 3
末梢動脈外来　開設のご案内 …… 3
平成 27 年上半期 東京医科大学病院休診日のお知らせ …… 4
平成 27 年上半期 東京医科大学病院　市民公開講座　予定一覧 …… 4

東京医科大学病院の理念と基本方針

理　念

人間愛と奉仕の精神に基づいて良質な医療を実践します。

基本方針

本学の校是である“正義・友愛・奉仕”を実践します。

1. 患者様を中心に信頼関係を築き、安心で開かれた医療を提供します。
2. 地域医療機関と連携して良質で高度な先進医療を提供します。
3. 人類の福祉と幸せの実現に貢献できる優れた医療人を育成します。

総合相談・支援センター　スタッフ

新年挨拶

東京医科大学病院 病院長
坪井 良治

新しい年を迎え、皆様には益々ご清祥のことと存じます。年頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。東京医科大学は来年の 2016 年に創立 100 周年を迎えますが、2015 年はその前年にあたり、創立 100 周年記念式典の準備も本格的になってきました。東京医科大学病院としては、西新宿キャンパス整備を含む創立 100 周年記念事業を成功させることが大きな目標となっています。

東京医科大学病院には、昨年 4 月に 8%消費税導入や診療報酬改定、医療機関別係数削減などの施策が実施され、厳しい年でありました。

また、特定機能病院の役割を高度先進医療に特化させるという方向性が明確に示されました。その結果、これまで以上に地域医療機関との医療連携が重要になってきました。地域の先生方とは「ふたり主治医制」などで病診連携を深め、外来機能を縮小して地域全体で患者さんをケアしていく体制が求められています。また、高度急性期医療を終了した患者さんには、重症度に応じて転院・通院のための病病連携が必要です。当院としては、総合相談・支援センターをさらに強化することで、医療連携業務を円滑化させたいと考えています。

引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

東京医科大学病院 副院長
総合相談・支援センター
センター長
土田 明彦

2015 年の年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。国・厚生労働省は、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を立案し、徐々に実行に移されています。この中で、大学病院は高度急性期病院として、重症患者の救急医療、がん・脳卒中・急性心筋梗塞などの専門医療を提供することが求められており、ある程度病状が安定した段階で、亜急性期病院、回復期リハビリ病院、在宅医療などへ早期に移行することが課せられております。

当院でも地域の医療機関や患者さんから信頼される安全で安心な医療を提供できるよう、日夜研鑽に務めております。また、大学病院の責務として新しい医療技術の開発にも取り組んでおり、医学倫理審査委員会の承認を経て種々の臨床研究を行っております。本年も旧年に増して医療連携を深め、地域の医療機関や患者さんから真っ先に選ばれる大学病院を目指してまいりたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

口唇口蓋裂センターの設立について

歯科口腔外科・矯正歯科 科長
近津　大地

口唇口蓋裂は 1/500 出生程度と、先天奇形としては高い発症率の疾患です。その治療は、児の病態や発育に応じて歯科口腔外科・矯正歯科、形成外科、耳鼻咽喉科、小児科、産婦人科など複数の科の医師、言語療法士、看護師、臨床心理士、ソーシャルワーカーなどがチームを形成し、チーム医療を行うことが一般的です。当院としても地域の患者様をフォローできる体制をつくることが重要と考え、このたび、「口唇口蓋裂センター」を設立することとなりました。当院は自立支援医療、更生医療の指定病院であり、手術や歯科矯正治療などに対し医療費の補助を受けることができます。

私たち口唇口蓋裂センターのスタッフはその専門性を生かして一貫した体制で患者さんをサポートしてまいります。分からないこと、不安なことなどありましたら、遠慮なくご相談下さい。

小児頭痛外来の開設について

東京医科大学小児科講師
山中　岳

日本頭痛学会認定頭痛専門医
小児神経専門医・指導医
小児科専門医、てんかん専門医
日本小児精神神経学会認定医

診療日時　月曜午後（完全予約制）

この度、2014 年 11 月より小児頭痛外来を開設することとなりました。頭痛自体は最も多い主訴のひとつですが、中には頭痛により学業に支障を来たすような患児を経験されていらっしゃる先生方も多いことと存じます。頭痛に伴い、めまい、耳鳴り、手足を動かしにくいなど、様々な症状がみられることもあります。このような患者様を是非ともご紹介いただければ幸いです。単に診断･治療するのではなく､科学的根拠に基づいた医療（Evidence-based Medicine）はもちろんですが､物語りと対話に基づく医療（Narrative-based Medicine）を通して、お子さんお子さんに合った医療を模索するよう心がけております。

ご多忙のところ大変恐縮ではありますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

末梢動脈（PAD：peripheral artery disease）外来　開設のご案内

近年、末梢動脈疾患（PAD）に注目が集まっています。その中でも下肢閉塞性動脈硬化症（ASO）は実地医家の先生方の診療の機会が最も多い PAD といえます。近年では ASO に対してのカテーテルによる低侵襲な血管内治療が急速に広まっております。また、禁煙や投薬による動脈硬化のリスクコントロール、合併する冠動脈疾患や脳血管疾患の評価などの内科管理の重要性が高い疾患と認知されております。ASO は間歇性跛行を主症状としますが、無症候性でも ASO が存在すれば既に全身の動脈硬化は進行している事が知られています。

実地医家の先生方にはご通院の患者様に ABI の測定をお勧めします。1.0 以下であれば循環器内科外来の中に開設している専門外来「末梢動脈（PAD）外来」（毎週月曜日午後）に是非ご紹介ください。下肢のみならず、全身の動脈硬化をスクリーニングし、必要であれば入院のうえ精査を行います。また治療終了後には必ずご紹介もとにお返しします。予約制となりますので、総合相談・支援センターまでお電話ください。

「足は第二の心臓」という言葉がありますが、当専門外来が実地医科の先生方の診療の一助になれば幸いです。

平成27年 上半期 東京医科大学病院休診日のお知らせ

朱字の日を休診とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

1

日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	・	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
・	・	・	・	・	・	・

3

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	・	・	・	・

4

日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	・	・

5

日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	・	・	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

6

日	月	火	水	木	金	土
・	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	・	・	・	・

※平成 27 年度から、本学創立記念日（4 月 13 日）の休診日が 4 月の第三土曜日に変更となります。
なお、今まで休診とさせていただいておりました 4 月 13 日は、通常診療となります。

平成 27 年度の本学創立記念日に伴う休診日は、4 月 18 日（土）となります

平成27年上半期　東京医科大学病院　市民公開講座　予定一覧

開催月日	科	講　　師	講演テーマ
2 月 20 日（金）	脳神経外科	橋本　孝朗　講師	『脳卒中に負けない！』 ～予防・早期発見・治療の正しい知識～
3 月 20 日（金）	整形外科	西田　　淳　教授	『肩の痛み』（仮）
4 月 20 日（月）	心臓血管外科	荻野　　均　主任教授	『心臓血管外科患者にならないために』
5 月 25 日（月）	医療安全管理学	三木　　保　主任教授	『安心して病院に掛かって頂く為に』（仮）
6 月 18 日（木）	感染症科	水野　泰孝　准教授	『デング熱について　今年の夏は大丈夫か』（仮）
	小児科	山中　　岳　講師	『小児の頭痛』（仮）
7 月 17 日（金）	循環器内科	五関　善成　講師	『心房細動の新時代を迎えて』（仮）

＊講師及び講演テーマにつきましては変更される事もございますので予めご了承ください。

東京医科大学病院　総合相談・支援センター　東京都新宿区西新宿 6 丁目 7 番 1 号　TEL 03-3342-6111（代表）
http：//hospinfo.tokyo-med.ac.jp/　発行責任者　土田 明彦

UD FONT より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。